

# 施工者さまへ

## 安全のために必ず守ること

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、  
 △警告、△注意の表示で区分して説明しています。  
 表示の意味は表中で説明しています。



誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに  
 結びつく可能性があるもの

禁止	引火する危険のある雰囲気で使わない。(ガソリン・可燃性スプレー・シンナー・ラッカー・可燃性粉じんのある所で使わない) (火災の原因)	絶対に行かないでください。
	傾斜天井や、補強のない天井には取付けない。 (火災・落下的原因)	必ず指示に従い行ってください。
	LEDユニット単体で使用しない。 (落下的原因)	D種(第3種)接地工事を確実に行う。 (接続不備は感電の原因)
	器具取付けの際は電線を挟まない。 (絶縁不良により感電・火災の原因)	必ず当社の適合LEDユニットとの組み合わせて使用する。国土交通大臣認定取得品のため、適合LEDユニットが指定されています。 (落下的原因)



誤った取扱いをしたときに、軽傷または  
 家屋・家財などの損害に結びつくもの

禁止	高温(35°Cを超える)、高湿度(85%RHを超える)、粉じん、油煙の多い場所、強い振動・衝撃のある場所で使わない。(落下的原因)	器具を密集して取付けない。(200mm以上離す) (器具の温度が高くなり火災の原因)
	天井直付専用器具です。 (指定方向以外の取付けは、火災・落下的原因)	表示された電源電圧以外では使わない。特に定格電圧の90%以下の電圧使用は、電源ユニットの短寿命、故障となります。 (火災・感電の原因)
	腐食性ガスの発生する場所で使わない。 (劣化による落下的原因)	器具のノックアウトを外す場合はドライバー等により電線を傷つけない。 (絶縁不良により感電・火災の原因)
	器具を乾燥不十分なクロス貼り・コンクリート面には取付けない。(絶縁不良やさびにより感電・落下的原因)	狭い箱のような中で使わない。また、器具を隠して使う場合は、放熱を妨げない。 (器具が過熱して火災の原因)
	屋外や水や湿気のある場所、軒下等の雨線内で使わない。(火災・感電の原因)	直射日光の当たる場所で使用しない。 (変色・変形・火災の原因)
	風が吹く場所で使わない。(落下的原因)	送り配線は非常用照明器具専用とし、容量を確認して接続する。器具内送り配線はできません。(容量を超えると電源端子台が過熱・焼損し火災の原因)
	分電盤と電源端子台の間には電源スイッチを設けない。 (取付けが不完全な場合落下的原因)	本体・蓄電池を確実に取付ける。 (取付けが不完全な場合落下的原因)

### お知らせ

- 周囲温度は5~35°Cの範囲で使用してください。
- 温泉地など、硫黄成分を含む腐食性ガスが発生する場所では使用しないでください。また、一般屋内でも器具周囲に硫黄成分が存在する場所では使用しないでください。
- 光学特性に不具合が発生する原因となります。
- 油煙のある場所では使用しないでください。光学特性能低下する原因となります。
- 防犯カメラ等を使用する場合は、フリッカーフィルタ対策仕様のカメラを使用してください。
- 空調機器等の排気口・温風吹出口付近の取付けはお避け下さい。蓄電池の寿命が低下することがあります。
- 内蔵蓄電池は、ご使用前に24(48)時間以上充電してください。(内蔵蓄電池は、ご使用前に24(48)時間以上充電してください。)内の数値は非常灯の場合
- 電源を通電しないまま、蓄電池をつないで放置すると過放電状態になりますので、おやめください。
- 工事完了から、使用開始まで時間がかかる場合は、消灯するまで器具を放置し、その後、蓄電池をはずし、保存してください。
- 器具と半導体スイッチ式人感センサスイッチを組合せるとちらつきや騒音の発生、電源ユニット故障の原因となります。リレー接点式人感センサスイッチを使用してください。
- 消灯スイッチを使用する場合、片切スイッチを電源の高圧側へ設置してください。200V電源使用時は、消灯時に微発光する場合がありますが、異常ではありません。
- 器具外周より広い平滑な水平天井面に取付けてください。天井面に凹凸がある場合、器具と天井面に隙間が発生する原因となります。

### 異常時の処置



煙が出たり、変な臭いがしたり、破損したなど異常を感じた場合はすぐに電源スイッチを切る。  
(火災・感電の原因)

### 商品についてのご相談

照明器具の機能・性能等のお問合せは、下記までお電話ください。

CSセンター (0570)003-937(ナビダイヤル)

受付時間(月~金曜) 9:00~17:00 土・日・祝日、夏季、年末年始休業日は受付しておりません。

この説明書は、再生紙を使用しています。

大光電機株式会社

〒541-0043 大阪市中央区高麗橋3-2-7 高麗橋ビル6F



DAIKO

大光電機株式会社

E770Z479G01 E770Z479H20

このたびはお買上げいただき  
ありがとうございました。

保存用

当社専用器具本体と  
LEDユニットの組み合わ  
せで性能を満足します。

## LED非常用照明器具・階段通路誘導灯兼用形

LEDユニット形ベースライト 40形 直付形 [蓄電池内蔵形]

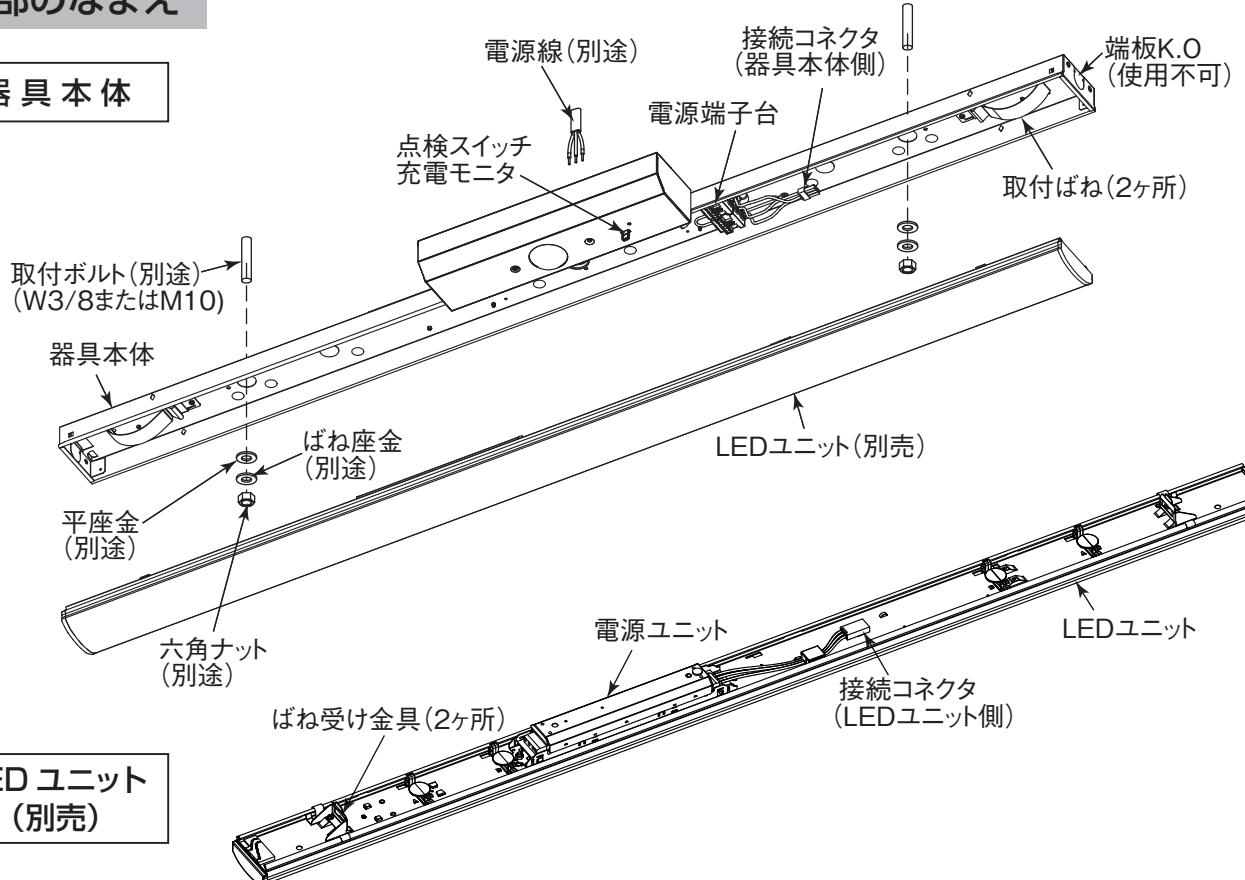
型番 LZE-92711XW(トラフタイプ)

### 据付工事説明書

※別梱包のLEDユニットの取扱説明書も必ずお読みのうえ、正しく施工してください。

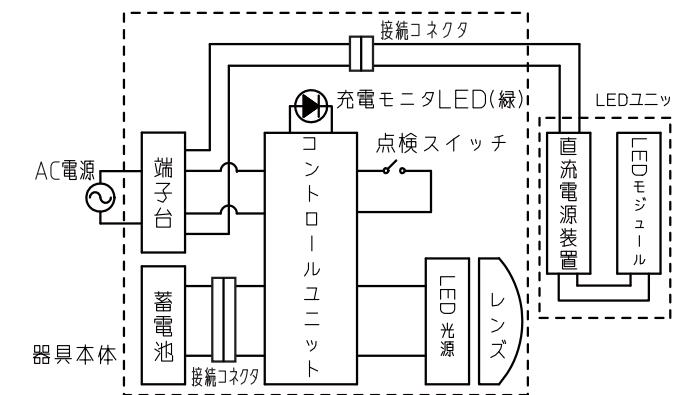
#### 各部のなまえ

##### 器具本体



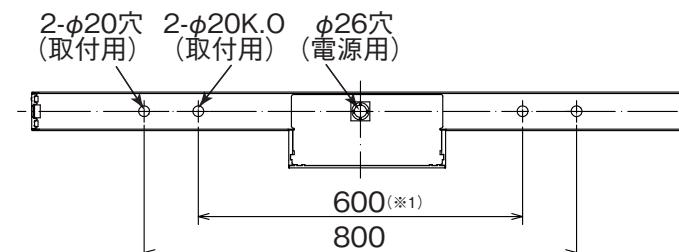
##### LEDユニット(別売)

#### 接続図



#### 取付穴

(単位 mm)



※ 6900lm タイプの  
LEDユニットでは 600 ピッチは  
使用できません。

## 各部のなまえと取付けかた 一 △ 警告 器具の取付けは据付工事説明書に従い行う (不確実な取付けは、器具落下・感電・火災の原因)

### 器具本体(非常用回路) 定格

LED ユニット組合せ時の定格は、組合せ形名の納入仕様書をご確認ください。

形名	定格電圧(V)	周波数(Hz)	入力電流(mA)	消費電力(W)
100V	200V	242V	100V	200V
LZE-92711XW	AC100 - 242	50/60	11.4 6.6 5.9	1.13 1.27 1.35

## 1 取付前の確認

- (1) 器具本体質量(約 1.7kg)、LED ユニット質量、及び LED ユニットの引き下げ力(60N)の合計に十分耐えるよう、取付部の強度を確保する。  
・LED ユニットの質量は、適合品の納入仕様書を参照ください。
- (2) 取付ボルトは、W3/8 または M10 を使用する。取付ボルト、天井  
18~22mm にする。



△ 警告  
器具の取付けは質量に耐える所に取付ける  
(落下の原因)

## 2 器具本体を取付ける

- (1) 器具本体のブッシュ付電源用穴に電源線・アース線を引き込む。
- (2) 別途手配の平座金、ばね座金、六角ナットを用いて、本体を確実に固定する。

△ 警告  
取付けが不完全な場合落下的原因

## 3 電源線・アース線を電源端子台に接続する

- (1) 電源線は非常用照明器具専用回路とする。  
・適合引込み電源線: φ1.6mmVVF 単線 φ2.0mmVVF 単線
- (2) アース線を電源端子台の差し込み穴に水平方向より確実に差し込む。

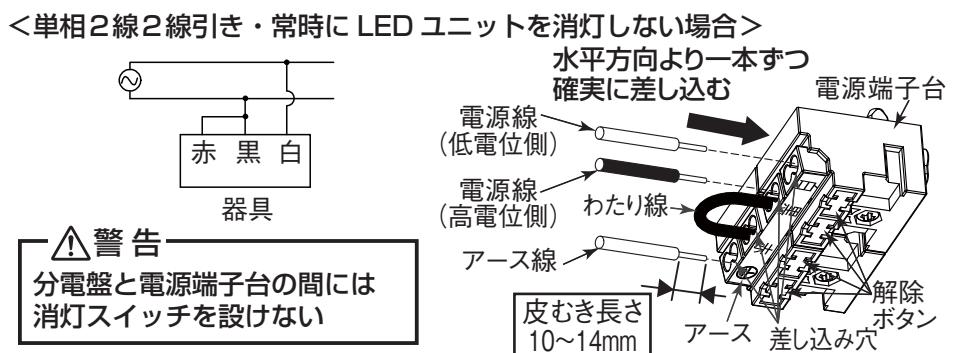
△ 警告  
アース工事は電気設備の技術基準に従い行う  
(アース工事が不完全な場合、感電・火災の原因)

- < D種 (第3種) 接地工事が必要です >
- (3) 電源線を電源端子台の差し込み穴に、水平方向より一本ずつ確実に差し込む。  
・電源線、わたり線を電源端子台から取り外すときは、幅6mmのマイナスドライバーで、解除ボタンをまっすぐに押す。

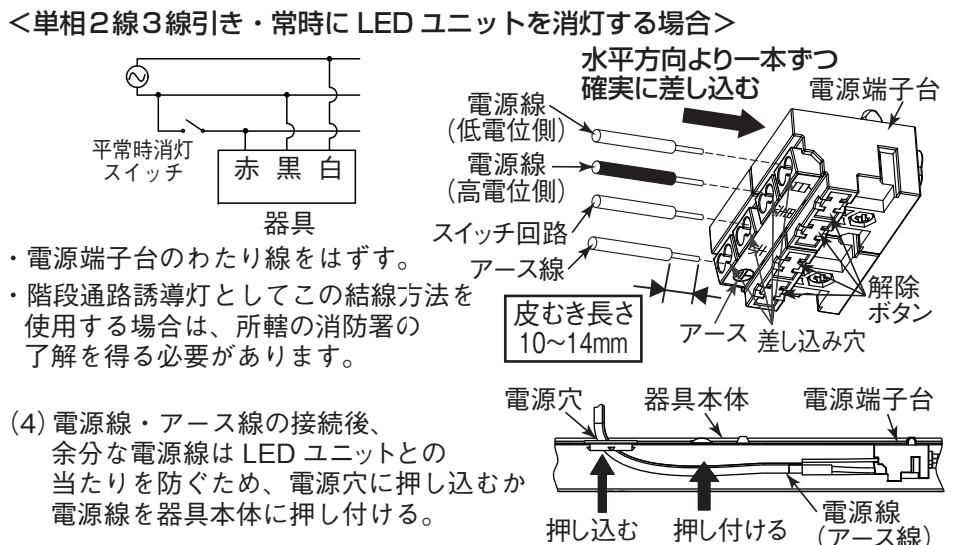
△ 警告  
電源の接続は適合電源線の被覆を指定長さにむき、  
1本ずつ差し込み穴の奥まで差し込む (差し込み  
不十分は接触不良により火災・感電の原因)  
  
△ 警告  
送り配線は非常用照明器具専用回路とし、電源端  
子台の送り総容量を確認して接続する  
(容量を超えると電源端子台が過熱して火災の原因)

- ・電源端子台の送り総容量は LED ユニットの明るさタイプで異なります。  
(右表参照)

明るさタイプ	送り総容量
6900lm タイプ	1.2A
5200lm タイプ	1.4A
4000lm タイプ	1.6A
3200lm タイプ以下	2.0A

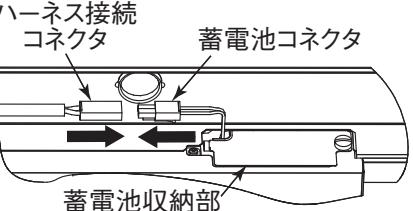


△ 警告  
分電盤と電源端子台の間には  
消灯スイッチを設けない



- ・電源端子台のわたり線をはずす。
- ・階段通路誘導灯としてこの結線方法を使用する場合は、所轄の消防署の了解を得る必要があります。

- (4) 電源線・アース線の接続後、余分な電源線は LED ユニットとの当たりを防ぐため、電源穴に押し込むか電源線を器具本体に押し付ける。



## 4 蓄電池を接続する

- (1) 蓄電池コネクタとハーネス接続コネクタを接続する。

△ 警告  
接続が不十分な場合、火災・感電  
の原因

- ・非常点灯するには、一度 AC 電源を通電する必要があります。  
通電せずに蓄電池を接続しても非常点灯しません。

## 5 LED ユニットを器具本体に取付ける

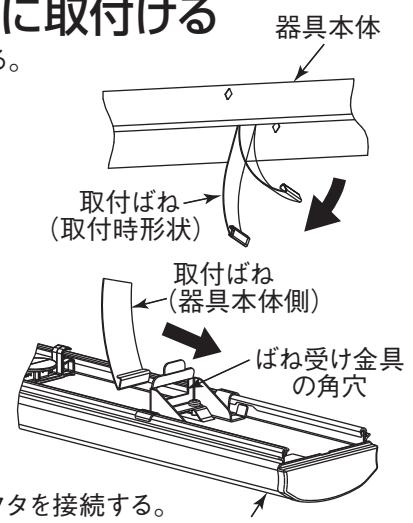
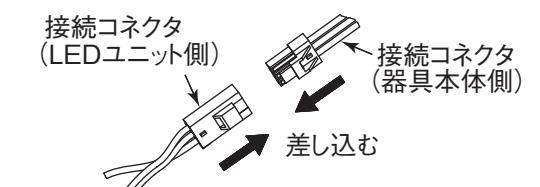
- (1) 器具本体側に LED ユニットを取付ける。  
・器具本体の取付ばねを下げる。

お願い  
取付ばねを必要以上に曲げない  
(取付ばね変形の原因)

- ・取付ばねを LED ユニット両側のばね受け金具の角穴に入れる。

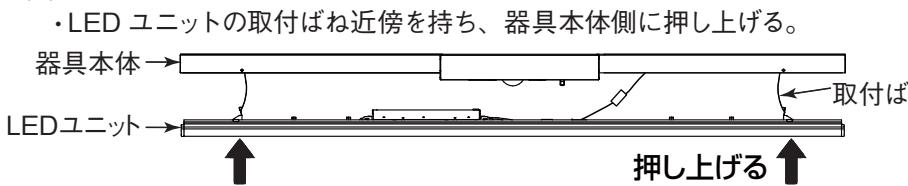
△ 注意  
片側のみ取付ばねをばね受け金具の角穴に入れた状態で保持しない  
(落下の原因)

- (2) 器具本体側と LED ユニット側の接続コネクタを接続する。



△ 警告  
通電した状態でコネクタの接続をしない (感電の原因)

- (3) LED ユニットを取り付ける。



△ 警告  
接続コネクタ・電源線・送り配線を挟み込まない (火災・感電の原因)

### △ 注意

- ・押し上げ時に器具本体と LED ユニット間に指を入れない(けがの原因)
- ・LED ユニット取付後、電線の挟み込みがないことを確認する  
(感電の原因)

## 6 点灯を確認する

点灯しない場合は、下記項目をチェックしてください。

- (1) 通常点灯しない場合
  - ・LED ユニットの接続コネクタは接続されていますか。
  - ・電源端子台に誤配線していませんか。
  - ・電源電圧は定格通りですか。
- (2) 非常点灯しない場合
  - ・電源は通電されていますか。  
通電せずに、蓄電池を接続しても非常点灯しません。
  - ・蓄電池の接続コネクタは接続されていますか。
  - ・蓄電池は 24 (48) 時間以上充電されていますか。() 内の数値は非常灯の場合
- (3) 充電インジケータ(緑色の表示ランプ)が点灯しない場合
  - ・電源端子台に誤配線していませんか。
  - ・電源は通電されていますか。
  - ・電源電圧は定格通りですか。
  - ・蓄電池の接続コネクタは接続されていますか。

## 7 LED ユニットの取外しかた

- (1) 器具本体の△形マークを目印に、LED ユニット側面部を持ち、両手で水平に引き下げる。

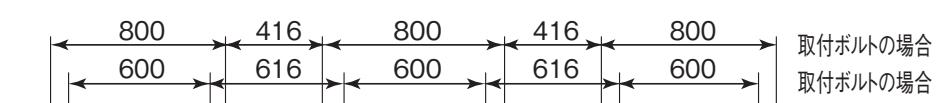
### △ 注意

点灯中及び消灯直後の器具本体及び LED ユニットに触らない (高温のためやけどの原因)

## 8 一般灯との連続取付の場合

器具内の送り配線はできません。

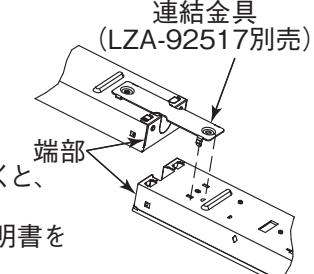
- (1) 取付ピッチを確認する。(単位 mm)



- (2) 器具本体の端部をそろえて連結する。  
(器具本体の中心をあわせる)

- (3) 連結取付の中央部から両端に向かって LED ユニットを器具本体に取付ける。

※連結金具(LZA-92517別売)をご使用いただくと、器具本体の中心が合わせやすくなります。  
連結金具の取付けかたは LZA-92517 の取扱説明書を参考してください。



# LED非常用照明器具・階段通路誘導灯兼用形

LED ユニット形ベースライト 40形 直付形 [蓄電池内蔵形]

型番 **LZE-92711XW** (トラフタイプ)

## 取扱説明書

○この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できません。またアフターサービスもできません。

○電源周波数 50Hz、60Hz 共用形ですから、日本全国どこでも使用できます。

## お客様へ

ご使用前に、この「取扱説明書」を必ずお読みください。お読みになった後、大切に保存し、必要なときにお役立てください。

## 安全のために必ずお守りください

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、

△警告、△注意の表示で区分して説明しています。

表示の意味は表中で説明しています。

図記号の意味は次のとおりです。



絶対に行わないで  
ください。



必ず指示に従い  
行ってください。

### !**警告**

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに  
結びつく可能性があるもの

禁止	お客さま自分で電気工事はしない。電気工事士の資格が必要です。(火災・感電の原因)	厳守	器具の清掃・蓄電池の交換は電源スイッチを切ってから行う。(感電の原因)
	器具のすき間や放熱穴に金属類を差し込まない。(火災・感電の原因)		煙が出たり、変な臭いがしたり、破損したなど異常を感じた場合はすぐに電源スイッチを切る。(火災・感電の原因)
	器具の直下や近くにストーブなどの熱器具を置かない。(過熱して火災の原因)		必ず当社の適合 LED ユニットとの組み合わせて使用する。国土交通大臣認定取得品のため、適合 LED ユニットが指定されています。(落下・感電・火災の原因)
	器具の改造や指定部品以外の交換はしない。(火災・感電・落下的原因)		
	蓄電池はショート・分解・加熱・変形させない。また、火中に入れない。(やけどや衣類損傷の原因)		

### !**注意**

誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・  
家財などの損害に結びつくもの

禁止	光を直視しない。 (長時間直視すると目を痛める原因)	厳守	レンズはガラス製のため、取扱いに注意する。 (割れたときけがの原因)
	スイッチを強く引いたり、はじいたり、斜めに引かない。(破損して落下的原因)		明るく安全にご使用いただくために半年に1回の保守・点検を行う。(発火・感電・落下的原因)
	点灯中及び消灯直後の器具には触らない。 (高温のためやけどの原因)		不具合があったら、そのまま使用しないで工事店または電器店に修理を依頼する。
	・ 照明器具には寿命があります。設置して8~10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。 LED光源は寿命が来ても、暗くなりますが点灯し続けます。点灯出来るからといって継続して使用が可能というわけではありません。		・ 周囲温度が高い場合は寿命が短くなります。 ・ 3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。 ・ 点検せずに長期間使用し続けると、まれに、発煙・発火・感電などに至る恐れがあります。

## お知らせ

- ・点灯、消灯時にカバー、反射板の収縮・膨張により、きしみ音が発生する場合がありますが、異常ではありません。
- ・LEDにはバラツキがあるため、同一形名の器具でも発光色、明るさが異なる場合があります。ご了承ください。
- ・LED光源の交換はできません。交換の際は器具ごと交換ください。
- ・LEDユニットが点灯した状態で、点検スイッチを引いて非常点灯に切替える場合は、LEDユニットは消灯しません。

## 器具の清掃

—△警告 電源スイッチを切ってから行う（感電の原因）

<器具のお手入れについて>

器具の汚れは、柔らかい布をうすめた中性洗剤につけてよくしぼってから拭きとり、さらに洗剤成分が残らないようによくしぼった水拭き用の柔らかい布で仕上げてください。  
シンナー、ベンジン、みがき粉やたわし、熱湯、アルカリ性洗剤、薬品などは使用しないでください。

<レンズのお手入れについて>

レンズはキズつきやすいのでメガネ拭き等柔らかい布で拭いてください。

△注意

点灯中及び消灯直後の器具には触らない（高温のためやけどの原因）

## 定期点検

- ・6ヶ月に1回、外観及び機能（非常点灯持続時間と切替動作）の点検を行う。[建築基準法施行規則第6条・消防庁告示第9号と第14号]

- ・24(48)時間以上充電後、非常点灯持続時間が20(30)分以下となったら蓄電池を交換する。（）内の数値は非常灯の場合
- ・消防法では点検結果を所轄の消防署に報告することが義務づけられています。[消防法施行規則第31条]

## 蓄電池の交換

—△警告 電源スイッチを切ってから行う（感電の原因）

適合蓄電池 9H10DA

・蓄電池は4～6年が交換の目安です。

・蓄電池の交換は必ず適合蓄電池を使用してください。



この製品には、ニッケル水素電池を使用しております。

ニッケル水素電池はリサイクル可能な貴重な資源です。

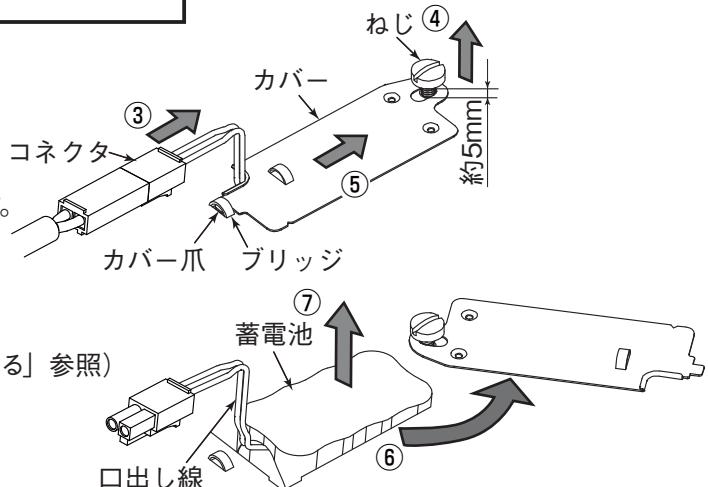
Ni-MH

ニッケル水素電池を取り出し、回収拠点へお持込みください。  
詳細は弊社カタログをご覧ください。

△警告

蓄電池はショート・分解・加熱・変形させない。また、火中に入れない（やけどや衣類損傷の原因）

- ①電源を切る。
- ②LEDユニットを取り外す。  
(据付工事説明書「7.LEDユニットの取外しかた」参照)
- ③蓄電池のコネクタを外す。
- ④ねじを緩める。（約5mm）
- ⑤カバーを矢印の方向にずらし、ブリッジからカバー爪を外す。
- ⑥カバーを矢印の方向に回転させる。
- ⑦蓄電池を取出す。
- ⑧逆の手順で蓄電池を取り付ける。
- ⑨LEDユニットを取り付ける。  
(据付工事説明書「5.LEDユニットを器具本体に取付ける」参照)
- ⑩電源を通電する。
- ⑪点検スイッチを引いて非常点灯を確認する。



△警告

蓄電池の口出し線をカバーで挟み込まない  
(落下・感電・火災のおそれあり)

## 知っておいていただきたいこと

- ・商品監視システム（防犯センサー）の一部の機器は電源ユニットの周波数と干渉して誤動作する場合がありますので、事前に商品監視システムのメーカーにご確認ください。
- ・電力線搬送を使用した機器と電源を共用すると、電力線搬送機器が正常に作動しない場合があります。
- ・電源事情のわるい場所では、LEDがちらつく場合があります。
- ・誘導及び空間波無線に対する影響  
使用周波数が数百kHzの誘導無線（同時通訳システム）及び数百MHzの空間波無線の場合、雑音が入ることがありますので、事前確認することをおすすめします。100V電源の場合には、接地工事することにより低減できる場合があります。

## 保証について

1. 保証について

この商品の保証期間は1年です。但し、消耗品は除きます。詳細は弊社カタログをご参照ください。  
※保証期間の例外

24時間連続使用点灯など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期間とします。

2. 保証書について

保証書が必要な場合は、「CSセンター」までお申し出ください。

3. 補修用性能部品の保有期間

弊社は、照明器具の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。補修用性能部品（同等の機能を有する代替品含む）とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## 異常時の処置

△警告

煙が出たり、変な臭いがしたり、破損したなど異常を感じた場合はすぐに電源スイッチを切る。（火災・感電の原因）

## 商品についてのご相談

照明器具の機能・性能等のお問合せは、下記までお電話ください。

CSセンター (0570)003-937(ナビダイヤル)

受付時間(月～金曜) 9:00～17:00 土・日・祝日、夏季、年末年始休業日は受付しておりません。

この説明書は、再生紙を使用しています。

大光電機株式会社

〒541-0043 大阪市中央区高麗橋3-2-7 高麗橋ビル6F